

様式 6

平成 18 年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 研究種目名 研究集会
2. 課題番号または共同利用コード 2006-W-02
3. 研究課題(集会)名 和文：新世代の干渉 SAR  
英文：New Generation InSAR
4. 研究期間 平成 18 年 10 月 5 日 ~ 平成 18 年 10 月 6 日
5. 研究場所 東京大学地震研究所 第一会議室
6. 研究代表者所属・氏名 高知女子大学 生活科学部・教授 大村 誠  
(地震研究所担当教員名) 古屋正人(地球計測部門)

7. 共同研究者・参加者名(別紙可) **別紙を参照してください。**

| 共同研究者名 | 所属・職名 | 備考 |
|--------|-------|----|
|        |       |    |
|        |       |    |
|        |       |    |

8. 研究実績報告(成果)(別紙にて約 1,000 字 A4 版(縦長)横書)(別紙に作成)  
**別紙を参照してください。**

10. 成果公表の方法(投稿予定の論文タイトル、雑誌名、学会講演、談話会、広報等)

研究集会講演集「新世代の干渉 SAR」を発行(1冊:添付)

講演集「新世代の干渉 SAR」の PDF 版を東京大学地震研究所ホームページにて公開

[http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/KOHO/HIGHLIGHT/KYODO/ERI\\_2006-W-02/InSAR2006.html](http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/KOHO/HIGHLIGHT/KYODO/ERI_2006-W-02/InSAR2006.html)

【別紙】研究集会「新世代の干渉 SAR」(研究課題番号:2006-W-02)

代表者:大村 誠(高知女子大学 生活科学部・教授)

7. 共同研究者・参加者名

| 氏 名         | 所 属                              | 備 考    |
|-------------|----------------------------------|--------|
| 大村 誠        | 高知女子大学                           |        |
| 古屋 正人       | ERI                              |        |
| Xiaoli Ding | Hong Kong Polytechnic University | 香港理工大學 |
| 浦井 稔        | 産総研                              |        |
| 目黒 義治       | 日本スペースイメージング(株)                  |        |
| 原田 智史       | 気象庁                              |        |
| 福島 洋        | 京都大学                             |        |
| 青木 陽介       | ERI                              |        |
| 森 大         | 国際航業(株)                          |        |
| 門間 充        | RESTEC                           |        |
| 児玉 信介       | 産総研                              |        |
| 小澤 拓        | 防災科学技術研究所                        |        |
| 富山 信弘       | RESTEC                           |        |
| 島田 政信       | JAXA                             |        |
| 山之口 勤       | RESTEC                           |        |
| 及川 純        | ERI                              |        |
| 雨貝 知美       | 国土地理院                            |        |
| 宮城 洋介       | 北大地震火山センター                       |        |
| 片木 武        | 京大防災研                            |        |
| 橋本 学        | 京大防災研                            |        |
| 高木 朗充       | 気象庁気象研究所                         |        |
| 橋本 徹夫       | 文部科学省                            |        |
| 土井 浩一郎      | 極地研                              |        |
| 菅原 衛        | 日本スペースイメージング(株)                  |        |
| 飛田 幹男       | 国土地理院                            |        |
| 朱 林         | (株)パスコ                           |        |
| 中尾 茂        | 鹿児島大・理                           |        |
| 田中 明子       | 産業技術総合研究所                        |        |
| 北川 貞之       | 気象庁気象研究所                         |        |
| 福井 敬一       | 気象庁気象研究所                         |        |
| 川勝 均        | ERI                              |        |
| 出口 知敬       | ERSDAC                           |        |
| 河合 雅己       | 国土地理院                            |        |
| 山口 志野       | NEC 航空宇宙システム                     |        |
| 菅野 貴之       | ERI                              |        |

|               |                     |  |
|---------------|---------------------|--|
| 衣笠 善博         | 東工大                 |  |
| 石井 雅哉         | (株)アイ・エム・シー         |  |
| 伊藤 武男         | 名大・地震火山センター         |  |
| 小林 茂樹         | 九州東海大・工             |  |
| 西野 智弘         | 東京大学                |  |
| 岩崎 晃          | 東京大学                |  |
| 奥山 哲          | 京都大学                |  |
| 野中 崇志         | (株)パスコ              |  |
| 山本 浩通         | VTI                 |  |
| 山科 健一郎        | 地震研                 |  |
| 和田 弘人         | 国土地理院               |  |
| 金子 隆之         | 地震研                 |  |
| 伊東 明彦         | 宇宙技術開発(株)           |  |
| 伊藤 恭一         | RESTEC              |  |
| 中村 和樹         | 国立極地研究所             |  |
| 辻 宏道          | ERI                 |  |
| 岩國 真紀子        | ERI                 |  |
| 古田 竜一         | RESTEC              |  |
| 児玉 哲哉         | JAXA                |  |
| 古村 文伸         | 日立                  |  |
| 高橋 浩晃         | 北大                  |  |
| 大倉 博          | 防災科学技術研究所           |  |
| 鄭敏学           | 三重大学                |  |
| 木股 文昭         | 名大                  |  |
| 坂口 英志         | 日立                  |  |
| 柴山 卓史         | (株)パスコ              |  |
| 廣瀬 明          | 東大・工・電子             |  |
| 三浦 哲          | 東北大・理               |  |
| 米澤 千夏         | 宮城大                 |  |
| 干場 充之         | 気象庁                 |  |
| 矢来 博司         | 国土地理院               |  |
| 灘井 章嗣         | NICT                |  |
| Asep Saepuloh | Kumamoto University |  |

【別紙】研究集会「新世代の干渉 SAR」(研究課題番号:2006-W-02)

代表者:大村 誠(高知女子大学 生活科学部・教授)

## 8. 研究実績報告(成果)

平成 18 年度東京大学地震研究所共同利用(研究集会)「新世代の干渉 SAR」(課題番号:2006-W-02)は、2006 年 10 月 5 日(木)~6 日(金)の 2 日間、東京大学地震研究所(東京都文京区)第一会議室において開催されました。大学・研究機関・企業から SAR(Synthetic Aperture Radar:合成開口レーダー)の応用を進める研究者・企業人・学生など 68 名の参加があり、地震・火山・断層・SAR 観測技術などの分野を中心に 22 件の発表・議論が行われました。国際測地学協会(IAG)小委員会 4.4「衛星/航空機搭載撮像システムの応用」議長の Xiaoli Ding 教授(香港理工大學)も参加され、国際的な広がりを持つこともできました。

本研究集会では、日本の「ふよう 1 号(JERS-1)」が搭載していた Lバンド SAR により観測されたデータの重要性があらためて示されると共に、待望の日本の陸域観測技術衛星「だいち(ALOS)」搭載 Lバンド SAR(PALSAR:フェーズドアレイ方式 Lバンド合成開口レーダー)の干渉 SAR 画像が初めてまとめて紹介されました。また、将来の InSAR と GPS などのシステムを統合した地殻変動解析へ向けた提言や、国内外の火山・断層の InSAR 観測結果、InSAR に関する基本的な理論的取り組み、これからも課題となる InSAR への大気影響についての研究などが発表されました。

さらに、本研究集会は、ALOS 搭載 PALSAR データの一般配布が開始される直前の時期に開催されたため、地殻変動やリモートセンシング分野から、あらたに InSAR に取り組む研究者も多数参加しました。とくに、注目される L-band InSAR の有効性と将来の統合的観測への方向性を共通認識とすることができました。最後の総合討論では、長期的な観測が必要な地球科学・防災の特性に鑑み、L-band SAR データが今後も継続的に提供されるよう、ALOS/PALSAR 後継機の実現を図るためにも、ALOS/PALSAR を中心とした InSAR の普及とその成果の社会への積極的な発信の重要性が確認されました。また、広い分野からの参加者が議論したり、研究のネットワークを広げたりしていました。干渉 SAR の最新情報を提供し、また、新たな取り組みを進める契機となって、本研究集会の目的は十分に達成されました。